

木材を利用した学校施設の工夫事例集のとりまとめについて
「こうやって作る木の学校～木材利用の進め方のポイント」の概要

1. 経緯

地方公共団体や設計者等が学校の木材利用に取り組み易くする観点から、学校の木材利用の進め方やコスト抑制方策についての取組事例等をとりまとめるため、平成21年度に文部科学省と共同で研究会を開催。

2. 工夫事例集のポイント

(1) 木材利用の意義と効果

- ① 教育的効果の向上（教室内の温熱環境、心理・情緒面等）
- ② 環境への配慮（地球温暖化防止、森林整備への貢献等）
- ③ 大工技術者の育成、地域経済の活性化、文化の継承等

(2) 木材利用を進め易くするための方策

- ① 木材利用の目的の明確化と共通理解、木材利用推進体制の構築等
- ② 木材利用の進め方
 - ・ 木材の品質、規格や適材適所の使用等について関係者の合意形成
 - ・ 伐採・製材・乾燥期間を考慮したスケジュール設定等
 - ・ タイプ別木造化事例（市町村材・地元の森林・流通材の活用）、内装の木質化等
 - ・ コストを抑制するための設計上の工夫（一般流通材・定尺材の活用、接合部の形状の統一化、適材適所の木材利用、維持管理を配慮した設計等）
- ③ 木造校舎の改修、耐震補強による継承等を通じた地域文化の継承
 - ・ 既存の文化や景観の継承、有効活用
 - ・ 木造校舎等の耐震診断・耐震補強の方法、改修による温熱環境等の向上

(3) 今後の課題

- ・ コンサルティング的役割を担う組織の形成
- ・ 規格材の流通促進による価格情報の提供と効率的な積算手法の確立等